

CONTENTS

はじめに	3
本書の読み方	5

第1章 オスマン帝国の勃興

第1幕	“引き返すべからず”運命の西進 家祖エルトゥールル	11
第2幕	アナトリアの戦国時代 初代オスマン1世	21
第3幕	君府を目指して 第2代オルハン1世の外征	29
第4幕	人種差別なきシステム 第2代オルハン1世の内政	35
第5幕	絶頂の最中の不意打ち 第3代ムラート1世の外征	43
第6幕	“世界帝国”に生まれ変わるために 第3代ムラート1世の内政	53
第7幕	戦争孤児たちへの英才教育 イエニチェリ軍団の創設	61

第2章 オスマン帝国の隆盛

第1幕	電光石火の兄弟殺し 雷帝登場	67
第2幕	全ヨーロッパでオスマンを叩け！ ニコポリス十字軍の集結	73

第3幕	無策の正面突撃 ニコポリスの戦	79
第4幕	東方からの使者曰く… 雷帝の慢心	89
第5幕	天下分け目の「関ヶ原」 アンカラの戦	97
第6幕	新たなるバトルロイヤル オスマン帝国の崩壊	111
第7幕	繁栄への礎は築かれた オスマン帝国の再建	117
第8幕	驚愕の越丘作戦 コンスタンティノープル落城	125

第3章 サファヴィー朝・ムガル帝国の勃興

第1幕	幼き教主の建国 サファヴィー朝の成立	141
第2幕	「救世主軍」の不敗神話 サファヴィー朝のイラン統一	155
第3幕	大砲とともに突き進め！ ムガル帝国の成立	167

第4章 イスラーム三國志(興隆期)

第1幕	大宰相家を族滅せよ！ オスマン帝国の完全復活	181
第2幕	挫折なき帝の最期 オスマン帝国 vs サファヴィー朝	191

第3幕	屈辱と怒りの憤死 オスマン帝国 vs マムルーク朝	203
第4幕	「押さば退け、退かば押せ！」 スレイマン大帝 イラク戦線	215
第5幕	冬将軍、襲来！ スレイマン大帝 ヨーロッパ戦線	225
第6幕	そしてひとりの亡命者が現る サファヴィー朝の試練	235
第7幕	父帝の歩んだ苦難をふたたび ムガル帝国の滅亡と再興	245

第5章 イスラーム三國志(絶頂期)

第1幕	海賊に委ねられた艦隊を前に スレイマン大帝 地中海戦線	255
第2幕	「勝利の太鼓はまだ鳴らぬ…」 ヨーロッパ国際関係に組み込まれていくオスマン	267
第3幕	「イスファハーンは世界の半分」 サファヴィー朝 絶頂期	277
第4幕	奇蹟の一矢 アクバル大帝の登場	285
第5幕	大帝の治世は「戦場」にあり ムガル帝国 絶頂期	297
第6幕	「災い転じて福と成す」 ムガル帝国の国家体制	303
	附録 イスラーム王朝年表	316

Column コラム

エルトゥールル号事件	20
オスマン1世の正夢	28
「オスマン帝国」の名称	42
ヴィドヴダン	52
ピンチはチャンス!	88
死中に活	110
ウルバン巨砲	139
君府陥落の直接的原因	140
チムールの呪い	147
サファヴィー朝と徳川家	154
シャイバニー朝とは	160
押してもダメなら…	166
バーブルの変心	180
先君の家臣団	190
スルタンカリフ制	213
権力と権威	214
聖イシュトヴァーンの王冠	234
理性と感情	244
フマーユーンは無能か?	254
ヨハネ騎士団	261
ガレー船とガレオン船	266
治外法権と領事裁判権	276
能ある鷹は爪を隠す	302